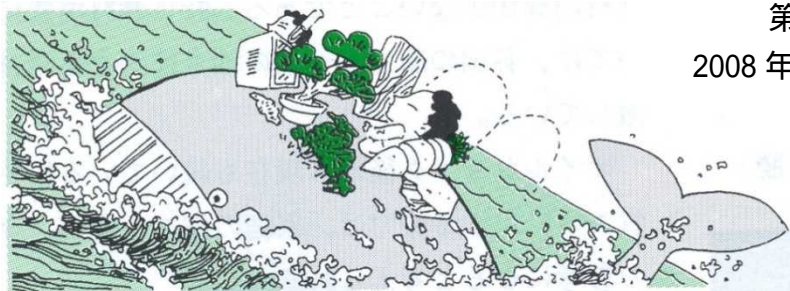


21世紀ひょうご市民学会 会報



第1号
2008年1月10日

編集・発行
21世紀ひょうご市民学会
代表世話人 澤木昌典
「神戸生活創造センター」登録番号 630

http://www.geocities.jp/hyogo21_citizen/index.htm

ごあいさつ

21世紀ひょうご市民学会
代表世話人 澤木昌典

わたしたちの「21世紀ひょうご市民学会」は、「21世紀学会」の15年間の活動の成果を引き継ぐ形で平成19年5月に発足いたしました。活動は、会員による研究活動と知的サロンの2つを主な柱としています。

研究活動は、会員個々の活動のほかに共同研究があり、現在、環境関連の「地球温暖化防止の現状と市民レベルで行う対策」「身近な環境におけるバイオマス」の2つの共同研究グループが活動を開始しています。

知的サロンは、年間5回ほどの開催を予定していますが、会員による研究発表などの話題提供を中心に、ゲストを招いての懇談、街角探訪などの内容で行います。これまでに2回のサロンを開催してきました。

事務局を兵庫県の外郭団体に置いていた21世紀学会とは異なり、当学会の事務局機能は世話人を中心とする会員が分担して行っています。その中で、上記のように、順調に活動を開始でき、ここに記念すべき会報の第1号を発行できたことは望外の喜びです。

会員数は30余名の小さな学会ですが、さまざまな経歴や専門性をもつ会員からなる当学会の特性を活かして今後の市民社会の道標を兵庫県から示す、そのような活動の展開に多くの市民の方々が集い語り合っていたくことを期待しております。



第3回「知的サロン」のご案内

日時：平成20年1月23日（水曜日）15時～17時

場所：神戸生活創造センター 6階 講座研修室

JR神戸駅 傍 神戸クリスタルタワー内

電話：078-360-8530

テーマ	発表者 表題	コメンテータ
[教育を考える]	塩野 勝 「現在の教育問題について」	津田美智子
「地域とその未来」	藤本 繁 「町長奮戦記」	伊藤眞平
	福田丞志 「但馬のおはなし」	上田寿栄

第4回予定：3月19日頃
姫路の「兵庫県立歴史博物館」訪問

第5回予定：5月21日頃
居留地跡散策

会場準備の都合上 出席の有無を同封のハガキに記入の上1月16日までに投函してください。

知的サロン 第1回、第2回は、下記内容で行われました。

回	実施月日	テーマ	発表者 表題	出席者(敬称略)
第1回	平成19年 9月19日	元気で豊かな シルバー ライフ	足立隆子 「2007年問題・団塊世代の思い」	足立隆子 上田寿栄 計盛哲夫 大竹真一 観田正信 小林東生
			小林東生 「私の健康管理と脳の働き」	
			田中智子 「日本型食生活」	
第2回	平成19年 11月21日		小林東生 「私の健康管理と脳の働き」補足説明	塩野 勝 庄司富美子 田中智子 田中有司 苗村康弘 速水順一郎 松原宏治 渡辺雄一
			苗村康弘 「女子大生と女子大学」	
		教育を考える	速水順一郎 「子どもと地域」	

私の健康管理と脳の働き 「手ノヤツコ足ノノリモノ」 第1回 発表者 小林東生

左脳後方の角回に聞く、見る、触れる、の各感覚野の情報が集まり読み書きができる。これが傷むと失読失書がおきることから学習に係わる場とされ、手足を動かせる仕事をすれば絶えず刺激が夫々に伝わって脳が、心身が活性化する。方丈庵に住み己が手をヤツコ、足をノリモノと呼び四方を歩き回って自活した長明は是が養性(ヤウセイ)になると述べた。ウォーキングは体を鍛える養生だけでなく性もよくなると断言している。

体験を重視した育て方が大切と昔から言われてきたが、是は脳内の無数の神経回路網の働きで適切な言動を発現する源の間脳(情報調整他) 扁桃体(環境把握・協調・判断他) 海馬(記憶・配分他)の発

達を促し社会性などを育てる唯一の方法であるからだ。学習の仕組みの研究は間脳に係わらない嗅覚を使い扁桃体・海馬との相関で解明が進んでいる。

調理を手伝わせても脳の働きはよくなる。高齢の私は体調に合わせた手足の働きで仕事を行い、会に出ては交流を心がけている。



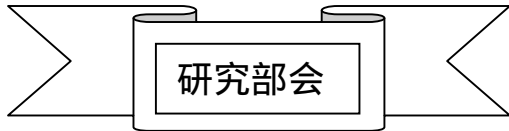
女子大生と女子大学

わが国では女子の進学率が50%近くに達した中で、その多くは共学校に進学するが、学生が女子学生だけの女子大(大学院を除く)も、大学案内等から集計すると80校弱もあり、そこに在籍する女子大生は、凡そ18万人の多きに上がっている。しかし大学や学生全体でみると、大学数では10%弱、学生数では7%強(女子学生の16%弱)にとどまり、しかも少子化の進む中、最近では女子大から男女共学大へ移行する動きが強まるなど、女子大の勢力はやや縮小気味にあるように思える。しかしながら、女子だけの伸びやかで自由な環境の中で、あまり異性を意識せずに学問や諸活動に打ち込める女子大や女子学生は、ますます貴重な存在になっていくと思われる。

第2回 発表者 苗村康弘

一方、労働人口の減少や社会の活性化の要請から、公務や教育研究、企業管理職などにおいても、女性の一層の活躍に期待する声が強い。したがって今後、女子大においては、これまで比較的女性の進出の少なかった社会科学や理系分野などにおいて、女子大ならではの視点を強めた教育の展開によって、高齢化や環境問題などの社会ニーズの対応にも強い、ますます多くの優れた女性の人材を輩出して社会に貢献していききたいと思う。(以上)





研究部会

環境関係の研究テーマが平成19年には下記2件提案されていて、下記参加者希望者が集い、方法論、研究材料の入手方法について、検討して、それぞれに作業を開始したところです。

参加者(敬称略)：

小林東生 庄司富美子 渡辺雄一
葛西市治 塩野 勝 竹重 薫 田中有司

研究部会 中間報告会 ご案内

日時：平成20年2月20日(水)13時 17時

場所：県民会館 7階「らん」

研究世話人からのお願い 小林東生

上記の日時、場所で研究発表会を予定しています。これには全会員の方々から本会則に添ったご研究の発表をしていただくことができますので、応募して下さるようお願い致します。

申込期日：平成20年1月20日

申込先：研究世話人まで

テーマ1 地球温暖化防止の現状と市民レベルで行う対策

提案者 塩野 勝

環境問題の中で地球温暖化問題は喫緊の重要問題として考えている。

IPCC評価報告書は、平成19年2月に第1作業部会の報告が出てから次々と発表されているが、平成19年11月12～16日のバレンシアで開催される総会で総合報告書が承認されるまでは、これまでの政策決定者向けの要約SPMで概要を知るだけであった。

総合報告書が発行されるとそれを研究メンバーで手分けして読み解き、市民向けの解説書にまとめてセミナーなどで発表して、それから市民が何を学び、どう考えて自らの行動を決定するかを、アンケート方式でまとめる。その結果を反映させた市民向け「IPCC第4次評価報告書に学ぶ市民による地球温暖化防止対策」というようなものに纏め上げて、市民の地球温暖化防止教本として発行させたい。

着手は、平成19年末、研究期間は1年間とする。性格は、勉強会とその成果を出版物にまとめるということになる。

研究メンバーが、地球温暖化の現状と将来についてIPCCという世界の研究者の集まりがまとめた報告書に学び、理解し、市民の環境教育に利用できるようなことを目指している。

注記：IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change 気候変動に関する政府間パネル)

テーマ2 身近な環境におけるバイオマス

提案者 葛西 市治

以前から水田は農産物の生産のみでなく、水を涵養し、洪水やがけ崩れなど防災や動植物の棲家の役割を果たしていた。播州地帯でも田畑輪作から離れ、畑作に転化しており、さらに大規模農業経営を拓げる計画もある。バイオマスを燃料に大量使用すれば水田は勿論野菜、根菜、果菜から、瀬戸内海の魚類にも影響を及ぼすだろう。

- ◇ 日本農業の衰退 ア．無機養分と有機 イ．水田と減反 ウ．機械化と規模拡大
- ◇ 地球温暖化防止 ア．農産物の輸入 イ．人災と戦災・天災
- ◇ バイオマスとエネルギー ア．物質循環と自然循環 イ．土と水と光/動物・植物・微生物

21世紀ひょうご市民学会 「知的サロン」「研究部会」 の連絡先

担当	氏名	電話番号	FAX 番号	メールアドレス
知的サロン	計盛哲夫	078-935-6632	同左	t_kazumori@cup.ocn.ne.jp
	大竹真一	06-6308-8231	06-6308-8232	otakes@oak.ocn.ne.jp
研究部会	小林東生	078-734-6755		
	渡辺雄一	0794-84-1640	同左	fwkg4685@mb.infoweb.ne.jp
	庄司富美子	078-708-8294	同左	m.shoji28@kkf.biglobe.ne.jp

お願い・お知らせ

21世紀ひょうご市民学会の ホーム ページ

21世紀ひょうご市民学会のホームページを、下記アドレスで掲載しています。

お友達や、お知り合いの方々にもご紹介ください。

◇ http://www.geocities.jp/hyogo21_citizen/index.htm

会報への投稿をお待ちしています

総務担当世話人 田中有司

- 会員の方々の中で、ご高齢で、また健康上の理由で「知的サロン」や「研究部会」にご出席になれない方もおいでになります。「知的サロン」や「研究部会」の案内にご返事をいただいた方々にはできるだけそれらの報告をお送りするように努力いたします。
- それでも、それらの内容は日ごろ興味を持っておられるテーマや、独自研究を進めておられる内容とは異なることが多いと思います。
- そこで、皆さんの研究内容や、社会面のテーマに対するご意見、また当「21世紀ひょうご市民学会」へのご意見等を、500～600文字程度に纏めて、世話人へ送付してください。
- この会報は年度内に数回発行する予定ですので、その都度掲載いたします。

会費納入のお願い

会計担当世話人 松原宏治

- 平成19年度会費未納の方がおられます。早急に納入くださいますようお願いいたします。

- <銀行振込> 三井住友銀行 兵庫県庁出張所(428)

口座番号 普通預金 3269542

名義人 21世紀ひょうご市民学会

- <郵便振替> 口座番号 00900-3-140156

口座名称 21世紀ひょうご市民学会

同封の振込取扱票(振込料金学会負担)をご利用ください。

区分	平成19年度会費
個人会員	5,000円
団体会員	50,000円

会員募集

21世紀ひょうご市民学会に入会ご希望の方は下記総務担当世話人までご連絡ください。

21世紀ひょうご市民学会 「会報 第1号」 発行担当および連絡先

担当	氏名	電話番号	FAX番号	メールアドレス
広報	足立隆子	078-792-6243	同左	ma-chin@muf.biglobe.ne.jp
会計	松原宏治	0797-23-6498	同左	kouji-ma@fa2.so-net.ne.jp
総務	田中有司	0797-74-3327	同左	ymtanaka895@yahoo.co.jp

